

令和5年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒一人ひとりが「確かな学力」を身に付け、自ら課題を発見し解決する力の育成を図るとともに、個に応じた学習機会の拡大を促す。 ②部活動、生徒会活動を活性化させ、生徒の自主性、主体性を育む。	①確かな学力育成のために「学びなおし」の視点を踏まえた授業実践を行う。基礎学力の定着を図り、生徒が達成感を感じられる授業を実践し、インクルーシブ教育を意識した、個に応じた学習指導を行う。 ②生徒会行事の活性化を図り、主体的な活動を支援する。部活動では生徒の自主性、主体性を育み、活動状況を校外に発信し部活動を活性化させる。	①習熟度別授業や補習により、個に応じた学習指導を実践する。 ①ICT活用やTTによる授業実践に関する校内研修を行う。 ②コロナ収束に伴い、制限のない行事を実践し、生徒主体の企画運営に向け指導助言する。 ②部活動見学を実施し、部活動への積極的な参加を促す。各部の活動状況や大会結果等を校外に発信して部活動の活性化を図る。	①「生徒による授業評価」の結果により、個に応じた指導ができたか。 ①ICTを活用した授業が増加したか。 ①TTによるわかりやすい授業を実践したか。 ②生徒会行事や部活動を通して、生徒の主体性を育成し、人間力を高め、達成感や充実感を獲得できたか。 ②部活動加入率を向上できたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	①基本的な生活習慣の確立を図り、モラル・マナー・ルールを守る自律した生徒の育成を図る。 ②生徒一人ひとりの課題に対応した支援体制の充実を図る。	①規律意識の醸成を図り、生徒の自律を促す。 ②きめ細やかな生徒指導と生徒把握に努め、諸問題の未然防止を図るとともに、課題解決のために関係職員と協力して対応する。 ②多様な生徒に対応するため、より一層精力的にSC、SSCや学校外の教育機関と連携して教育相談体制を充実させる。	① 教員同士の密な情報共有と生徒への積極的な働きかけにより、規律意識を高め、生徒の自律を促す。 ②生徒への声かけや面談を通して心身の変化に気づき、困り感を聞き取る等、速やかな課題解決を図る。 ②担任、学年、SC、SSW、相談コーディネーターとともに外部機関との連携を深め、生徒一人ひとりの課題に対応し、ケース会議を開く等、組織的な支援を行う。	①特別指導、学年指導、近隣からの苦情件数等が減少したか。 ①生徒の自律性の向上が見られたか。 ②SC、SSWと生徒、保護者との面談回数は増加したか。 ②外部の相談機関等との連携は増加したか。 ②ケース会議を適切に開催したか。					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	①生徒一人ひとりの自己実現と社会的・職業的自立を支援する進路指導の充実を図る。	①生徒一人ひとりが自らの良さに気づくとともに資質・能力を伸ばし、将来の進路・キャリアにつながる進路指導・支援を実現する。 ②インクルーシブ教育における生徒受け入れに向けて、具体的で実行可能な計画等を作成する。	①「総合的な探究の時間」を通して自己理解や課題解決力を育む。 ①ガイダンス機能を充実させ、生徒が多様な生き方やあり方を考え、将来の進路選択につながる指導を行う。 ①基礎力診断テストや実力テスト等により、生徒が学習成果を振り返り、上級学校等へ進学する学力を身につける支援する。 ②令和6年度1年間のキャリア科目の指導案を作成し、インターンシップ受け入れ事業所を開拓する。	①「総合的な探究の時間」を目標と計画に基づき実施できたか。 ①進路面談や集会等の中で、情報提供とともに社会や世界の変化を意識した指導ができたか。 ①基礎学力診断テストや実力テストにより、学習の振り返りができたか。 ②実践可能な指導案を作成できたか。 ②受け入れ先の事業所を開拓できたか。					
4 地域等との協働	①地域・保護者等との連携・協同を推進し、信頼される学校づくりに取り組む。	①生徒の活動を積極的に発信し、本校の教育活動の理解と信頼される学校づくりを進め、インクルーシブ教育推進実践校としての取組を周知する。 ②PTA 活動やボランティア活動を通して、地域等との協働を図る。	①ホームページの充実を図り、学校説明会やオープンスクールの実施により本校の魅力やインクルーシブ教育について積極的に発信する。 ②PTAと連携してボランティア活動や行事の活性化を図り、地域行事への参加を通して地域との交流を深める。	①本校の特色とインクルーシブ教育について効果的に広報できたか。 ②PTAと密に連携できたか。 ②地域主催の行事へ参加できたか。					
5 学校管理 学校運営	①事故・不祥事防止対策の徹底を図る。 ②働き方改革、及びICT機器利活用等の教育環境の整備を推進し、円滑で効率的な学校運営に取り組む	①成績処理や個人情報扱い、体罰等による事故・不祥事防止を徹底する。 ②教育活動全般でのICT活用と学校運営の情報化を図ることにより、業務改善と働き方改革を進める。 ②業務の見直しを図り、スクラップ&ビルドを進める。	①複数による点検業務を徹底し、職員間のコミュニケーションを密にすることで風通しよい職場環境を構築する。 ②ICT活用に関する研修を複数回実施し、教育活動や業務の情報化を進める。 ②必要ない業務について積極的に提案し、業務削減を図る。	①入選業務や成績処理で効率化を進め、無事故を達成できたか。 ②ICT活用に関する研修を実施したか。 ②情報化推進により、教育活動や学校運営の効率化を図り、必要ない業務が削減できたか。					

